

シンポジウム 2-2 (歯周治療・外科処置)

再生療法におけるマイクロサージェリーの有効性

勝部 義明

カツベ歯科クリニック (大阪府)

近年、歯科用マイクロスコープを用いた低侵襲で審美性の改善を目的とした歯周形成外科について報告されるようになってきている。しかし、日常臨床では、周囲不良組織の除去に止まらず、健全歯周組織も含めすべて除去する切除療法が中心である。再生療法においても、依然として患者さんに対し、大きな外科的侵襲を加えているように思われる。そこで、再生療法を成功させる鍵となるのは、精密で低侵襲な切開剥離は元より、徹底的な不良肉牙の除去にある。それらを満たすためにはマイクロスコープによる拡大視野のもと行うマイクロサージェリーは有効な手段といえる。そこで今回は、歯科用マイクロスコープ下で低侵襲な歯周外科を施した結果、良好な結果を経ているケースをもとに、歯科用マイクロスコープを用いた歯周病治療の有効性について考察したいと思う。

1997.3 明海大学歯学部卒業

1997.4 ミナミ歯科クリニック勤務

2003.4 ミナミ歯科クリニック退職

2003.5 カツベ歯科クリニック開業 (大阪市中央区)

2017.5 カツベ歯科クリニック移転 (大阪市北区)

日本顎咬合学会指導医

大阪 SJCD ベーシックコースインストラクター

日本口腔インプラント学会認定医

MTIJ メンバー

日本顕微鏡歯科学会会員

日本審美歯科協会会員